

国語

一
次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

言語はこころの窓である。ここで言うこころとは、人間がものごとを捉えるところ、つまり知的に捉える頭と、情動的に捉える心の両方を指す。つまり、言語は人間が知識や経験を解釈する窓となっている、^①生得的な人間の言語能力はどの言語社会に生まれとも同じものである、言語能力は人類に^②フヘンテキなものである。しかし、人間が日常使用する言語の表層的な仕組みは、個別の言語の窓として、異なった^③**a**を導くものである。これは、「言語相対論」あるいは「サピア・ウオーフ仮説」と言われる。次の引用を見てみよう。（井上京子、ジェームス・スタンロー『月刊言語』一九九四年五月号101―102ページ）「」は筆者の加筆。

ここに三人のカウボーイがいたとしよう。日本人、アメリカ人、そして「ネイティブ・アメリカンの」ナヴァホ族の若者が肩を並べて見回りをしていて、いくつかのフェンスが目にとまる。三人は帰ってボスにそれを報告するのだが、「フェンスが二つに壊れていた」といった意味の簡単な発言であるにもかかわらず、^③彼等のハアクする事実はそれぞれに異なっている。それはいったいどうしてなのか。

まず三人とも主語名詞となるフェンスという単語を選ばなければならない。日本人とナヴァホなら「助数詞の選択に必要なので」その名詞が生物か無生物かを区別する必要があるが、アメリカ人はそんなことに注意を払う必要はない。また、日本人とナヴァホは助数詞を選ばなければならず、それが「長くて細いもの」をあらわす助数詞（たとえば日本語では「二本」）だったとしたらフェンスはおそらくワイヤー製で、石や木の囲いではないことが報告を受けたボスにもすぐわかる。次に動詞を選ぶ際、日本人やアメリカ人と違ってナヴァホは主語名詞の特徴を反映するような語を用いる。例えば、たくさんトゲがある。

つまり有刺鉄線であるという形状をつける動詞を使えば、そのフェンスはチェーン状でも電流の通ったものでもないことを同時に意味するわけである。そしてまたナヴァホの選ぶ動詞は、フェンスが壊れたのは人間などの行為で意図的にそうなったのか、それとも嵐のような自然現象ゆえかも教えてくれる。文法的な形式から、今そのフェンスがどんな状態になっているのか、風にはためているか、A じつとそのままか、といったことまでナヴァホ語では表わすようになっていく。さらに、ナヴァホと日本人のカウボーイなら、この報告が自分で直接体験したものか、あるいは聞き伝えなのかを示す動詞の形式を使い分けなければならない。また、アメリカ人と日本人なら時制を用いて時間設定を表わさなければならない。

このように、アメリカ人、日本人、ナヴァホのカウボーイは「フェンスが二つに壊れている」という同じ事象を異なった見方（スキーマ）で捉えている。三人共同じように見る認識の能力は持っているが、それを言語で報告する場合、彼らの言語の異なる文法カテゴリーに応じた概念カテゴリーで描写しなければならない。

このように、言語はそれを使う人々の社会経験の捉え方、解釈の仕方に少なからぬかかわりを持つ。そして、言語を共有する人々は、同じようなものの見方をする傾向を持つ。そのような人々の思考や習慣のパターンの総体が文化である。^④ 言語は文化の基本と言われるゆえんである。

一方、文化が言語のカテゴリーを支配しているという一面も見逃すことができない。^⑤ 日本語には、コメを主食とする日本人の食生活文化を反映して、稲、米、ご飯、お粥^{かゆ}などと豊富な語彙があるが、英語にはriceという一つの単語しかない。文化が語彙体系に反映している例である。

誰でも、自分のものの見方は空気のように当り前であるので、無意識のうちにWなものと思っている。B、それがXなものであることに気付かされるのは、三人のカウボーイで見たように、異なる言語の世界と接触し、その違いに直面するときであろう。

言語相対性の基本は、すべての言語が等しい価値を持つという考えである。世界に少なくとも数千はありと言われる言語には、

美しい言語、汚い言語、良い言語というようなものはない。何らかの価値観をものさしにして、個別言語の優劣を計る根拠は何もなく、それぞれの言語は、その話者にとって、価値のあるものである。言語に関する **Y** な考えこそ、地球市民の持つべき常識と言えよう。

これまでの日本人は、西欧の言語、**C** 英語を世界の言語の中で優位に置いてきた、という現実がある。その証拠に、西欧人による英語の見方をただ鵜呑みにする傾向があった。母語である日本語と **Z** に見た英語文法の研究は、英語話者の **β** をつく発見となる可能性を持っているが、そのようなことは、考えられないことであつた。言語相対論をベースにした言語の見方、つまり、様々の言語をそれぞれの価値で認識し、トウカのものとして捉えることは、国際社会の要請になつた考えである。

国際社会では、異文化接触が身近なものとなる。国際関係で摩擦が起きるが、それは言語とかかわる異なる **a** の総体としての文化のギャップが要因であり得る。そのことに備えて、言語と世界観の基本的知識を備えた地球市民を育成することが必要である。

(井出祥子「国際化社会における言語と文化とアイデンティティー」による)

(注) スキーマⅡ次に入ってくる情報の予測を立てたり、メッセージの理解の仕方に制約を与えたりする要因となる、人が持つ構造化された知識、あるいは知識の枠組みのこと。

問一 a に入ることばを本文中から五字で抜き出して書きなさい。

問二 A B C に入る語として最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、その番号を書きなさい。

- 1 さらに
- 2 しかし
- 3 それとも
- 4 とりわけ

問三 傍線④「言語は文化の基本と言われる」とあるが、それはなぜですか。ふさわしくないものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 言語が文化のカテゴリーを支配しているから。
- 2 言語を共有する人々は、同じようなものの見方をするから。
- 3 人々の思考や習慣のパターンの総体が文化であるから。
- 4 それぞれの言語は、その話者にとって、価値のあるものだから。

問四 傍線⑤「日本語には、コメを主食とする日本人の食生活文化を反映して、稲、米、ご飯、お粥^{かゆ}などと豊富な語彙があるが、英語にはriceという一つの単語しかない」とあるが、これと同じような日本語の「豊富な語彙」の例とそれが生じた理由を考えて六十字以内で書きなさい。

問五 WXYZには、「相対的」「絶対的」のどちらかの語が入ります。「相対的」が入る の記号をすべて書きなさい。

問六 傍線⑥「ただ鵜^う呑みにする」とはどのようなことですか。最も適当なものを次の中から選び、その番号を書きなさい。

- 1 よく吟味して、そのまま取り入れること
- 2 よく吟味して、批判的に取り入れること
- 3 よく吟味することせず、そのまま取り入れること
- 4 よく吟味することせず、批判的に取り入れること

問七 β に入る語を二字で書きなさい。

問八 傍線⑨「言語と世界観の基本的知識」とはどのようなことですか。最も適当なものを次の中から選び、その番号を書きなさい。

- 1 すべての言語が等しい価値を持つというのは幻想であるという考え
- 2 言語には美しい言語、汚い言語、良い言語というようなものがあるという考え
- 3 それぞれの言語は、その話者にとって、価値のあるものであるという考え
- 4 英語は世界の言語の中で優位に置かれるべき言語であるという考え

問九 引用の部分では、同じ事象を見た三人のカウボーイがボスに報告をする際に、その報告内容がそれぞれの言語によって大きく異なってくる、ということが説明されています。これは、同一の事象をどのように捉えるのか、その捉え方の違いが無意識のうちに言語の文法に現れるということです。では、それぞれのカウボーイの捉え方が反映している文法事項は何ですか。正しいものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 アメリカ人のカウボーイ…主語名詞 その名詞が生物か無生物か 時制
- 2 ナヴァホのカウボーイ…主語名詞 その名詞が生物か無生物か 助数詞 主語名詞の特徴を反映する動詞の形式 原因が人間によるのか自然現象なのかを反映する動詞の形式 その内容は自分で確認したか伝聞かを示す動詞の形式 時制
- 3 日本人のカウボーイ…主語名詞 その名詞が生物か無生物か 助数詞 その内容は自分で確認したか伝聞かを示す動詞の形式 時制

問十 傍線①②③⑦⑧のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。文字は大きく鮮明に書きなさい。

次の【A】【B】【C】の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【A】^a家居のつきづきしくあらまほしきこそ、仮の宿りとは思へど興あるものなれ。よき人ののどやかに住みなしたる所は、さし入りたる月の色も、ひとときはしみみと見ゆるぞかし。いまめかしくきららかならねど、木立ものふりて、わざとならぬ庭の草も心あるさまに、簀子・透垣のたよりをかしく、うちある調度も昔おぼえてやすらかなるこそ、^①心にくしと見ゆれ。多くの工の心を尽くしてみがきたて、唐の、大和の、めづらしく、えならぬ調度ども並べ置き、^②前栽の草木まで心のままならず作りなせるは、見る目も苦しく、いとわびし。^イさてもやはながらへ住むべき、また、時の間の煙ともなりなんとぞ、うち見るより思はるる。おほかたは、家居にこそことざまはおしはからるれ。

【B】^④後徳大寺大臣の、寢殿に鶯あさせじとて縄を張られたりけるを、西行が見て、鶯のゐたらんは、何かは苦しかるべき。この殿の御心、さばかりにこそとて、そののちは参らざりけると聞きはべるに、^⑤綾小路宮のおはします小坂殿の棟に、^⑥いづぞや縄を引かれたりしかば、^⑦かのためし思ひ出でられはべりしに、まことや、^⑧烏の群れみて池の蛙をとりければ、御覧じ悲しませたまひてな^⑨んと人の語りしこそ、^ウさてはいみじくこそとおぼえしか。徳大寺にもいかなるゆゑか侍りけん。

【C】^⑩神無月のころ、栗栖野といふ所を過ぎて、ある山里に尋ね入ること侍りしに、^⑪はるかなる苔の細道を踏み分けて、心細く住みなしたる庵あり。木の葉にうづもる懸樋のしづくならでは、^⑫つゆおとなふものなし。^⑬閑伽棚に菊・紅葉など折り散らしたる、さすがに住む人のあればなるべし。かくてもあられけるよとあはれに見るほどに、^⑭かなたの庭に、大きな柑子の木の、枝もたわわになりたるがまはりをきびしく囲ひたりしこそ、^⑮少しことさめて、この木なからましかばとおぼえしか。

(『徒然草』による)

(注1) 懸樋 Ⅱ 泉から水を引くために地上にかけ渡した樋。

(注2) 関伽棚^{あかだな} 仏前に供える花や水を置く棚。

問一 二重傍線 a ~ f の活用語の活用形をそれぞれ書きなさい。

問二 係り結びが成立している例を【A】の本文中から五つ見つけ出し、係りの語と結びの語をそれぞれ抜き出して書きなさい。

問三 傍線①②⑩の漢字の読みを現代仮名遣いで書きなさい。

問四 傍線③「心のまま」とほぼ同じ意味を表していることばを【A】の本文中から六字で抜き出して書きなさい。

問五 傍線④「さばかりにこそ」の解釈として最も適当なものを次の中から選び、その番号を書きなさい。

- 1 これほどまでに風流でいらっしゃったのだなあ
- 2 その程度の心の狭さでいらっしゃったのだなあ
- 3 あの対策だけでは物足りなかったでしょうなあ
- 4 どんなにか期待を裏切られたことでしょうなあ

問六 傍線⑤⑦⑧の敬語について、種類は次の中から選んでその番号を、対象（誰に対する敬意を表しているのか）は本文中から抜き出して、それぞれ書きなさい。

敬語の種類 1 尊敬 2 謙譲 3 丁寧

問七 傍線⑥「と聞き」⑨「と人の語り」について、聞いた内容、人が語った内容に当たる初めの三字を、それぞれ抜き出して書きなさい。(句読点・符号も字数に数える。)

問八 傍線⑪「この木なからましかば」と思った理由の説明として最も適当なものを次の中から選び、その番号を書きなさい。

- 1 隠遁^{いんとん}生活を送っていても、まだ欲心を捨ててはいないようだから。
- 2 誰も住んでいなさそうな山奥でも、みごとに自給自足できているから。
- 3 山里で暮らしていると、やはり他人には分からない苦勞がありそうだから。
- 4 悠々自適に過ごすにも、何かと準備しておかねばならないことがあるから。

問九 筆者が好意的には捉えていないことを表している語を波線ア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 心にくし イ わびし ウ いみじく エ あはれに